

## ユマニテク医療福祉大学校 令和7年度自己評価結果

令和8年2月19日

項目	評価ポイント	評価・課題
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の理念・目的・育人人材像は定められているか</li> <li>●学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか</li> <li>●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>「指定規則」の許す範囲内で本校理念を達成するための特色を検討する必要がある。</p> <p>課題:養成施設指定規則に従い、教育理念に従う特色あるカリキュラムを構築していく必要がある。</p> <p>改善策:カリキュラムマップを機会あるごとに、周知する。HP、ソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用し、各学科の活動を紹介し、本校の特徴、教育目標の理解を促す。</p>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか</li> <li>●情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学籍管理システムと成績管理システムの連携強化をしていく必要がある。今年度更新年度であった「三重県SDGs推進パートナー」に相応しいペーパーレス/オンライン化の意識を持ち、定着を目指す。</p> <p>課題:成績管理システムが機能しない部分の運用について、毎年課題が残っており、年度末に事務作業が煩雑になる。</p> <p>改善策:成績管理システムは教職員の努力で、急場をしのいでいるが、抜本的な見直しが必要である。</p>
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>●職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>関係施設や業界団体等と連携し教育課程の検討を行っている。多職種連携教育は看護学科と合同で開催した。外部講師を招聘して、校内教員研修会を実施した。</p> <p>課題:基礎学力の低下や理解力の乏しい学生が増加している。</p> <p>改善策:教授方法や国家試験指導方法の工夫が必要となる。国家試験の制度変更により、特に介護福祉学科の留学生の支援体制の構築準備を行う。</p>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>●就職率の向上、退学率の低減が図られているか</li> <li>●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切</p> <p>学内教育にて「キャリア形成・リスキリング推奨事業」を取り入れ、授業中においても指導をしている。</p> <p>就職は、ほぼ100%関連分野にしている。資格取得に関しては、学内での教員による個別指導に加え、アプリケーションの活用、業者模擬試験を実施している。現役合格できない学生に対するフォローアップ体制を構築している。</p> <p>課題:歯科衛生学科では、卒業後のキャリア形成については、在学中に地域歯科保健・在宅歯科・災害時歯科保健・医療的ケア児支援等の講座を取り入れているが、体系化には至っていないのが今後の課題である。</p>

		<p>介護福祉学科は 9 年連続退学者 5%未満を達成した。全学科、さらなる、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。</p> <p>改善策: キャリア形成の把握のために、卒業生アンケート実施のための検討を継続する。</p>
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> <li>●学生相談に関する支援体制は整備されているのか</li> </ul>	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>スポーツ大会を四日市総合体育館で会場に実施した。求人票は、在校生だけでなく卒業生も閲覧できるようにして、相談があった場合は個別対応。健康診断を年 1 回実施し、その結果を把握した。就職説明会や就職担当者との面接を行うことで、より自分にあった就職先選びができています。しかし、就職試験でうまく力の発揮できない学生もいるため、履歴書のチェック、面接の練習を全員に行った。卒業生に対しても、就職相談や図書館の利用ができるようしている。留学生に対する学習や生活の指導を行った。県内高校への出前授業やバス見学等のキャリア教育・職業教育への協力を行っている。定期的なカウンセリングを実施しており、有効に活用されている。</p> <p>課題: 学生周知の方法として、アプリケーションの導入を検討する。</p> <p>改善策: 様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう教職員で支援する。退学者対応として、学園内から介護福祉学科への転科、転校の推進や委託訓練生の受け入れ促進、留学生枠の検討準備に入った。</p>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか</li> </ul>	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>防災に対する教職員研修を実施し、また三重県防災対策部担当者による防災みえ(アプリ)の使い方、防災グッズに関して講話を開催した。臨床実習及び介護実習において南海トラフ地震に対応した。学外実習施設については、必要に応じて各学科で登録申請を行っており、必要な備品についても、修理が必要な備品は修理し、修理できない備品については順次買い替えていく予定としている。スクールカウンセラーは近隣教育機関から協力を得て年間 15 回開催し、16 件の相談があった。昨年まではリピーターが多かったが、まだまだ必要としている学生も多い。カウンセラーからの学生に対して「こんな相談をしてよい」という説明の機会を設けた。QR コードから相談を申し込める仕組みを作り、今後も気軽に利用していただけるようにしたい。受水槽の更新、エレベーター修繕、授業に必要な備品の購入は計画通り実施できているが、Wi-Fi の整備、防災関連の整備が滞っている。Wi-Fi に関しては授業運営に関わってくる部分であり、学生の需要も高いので最優先で取り組んでいきたい。</p> <p>課題: 経年劣化による外壁補修、LED 化、校舎内防災</p>

		<p>対策(窓ガラス飛散防止、転倒防止)。 改善策:学園の今後の経営計画に従い、必要な施設整備に関する修繕計画を立案する。</p>
(7)学生の受け入れ・募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生募集活動は適正に行われているか</li> <li>●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか</li> <li>●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切 各学科での将来像の展望を明確していく必要がある。 2, 3年制の強みを生かす戦略が必要である。 課題:OCから入学に結び付けることが重要である。少子化に向けた募集活動を模索する。今後、募集に関して、ネット出願に対する対応準備や募集告知に関して伝わりやすさの検討や研究を課題とした。 改善策:理学療法学科では、学費 50%減免制度を導入した。入学前教育の1回目は例年通り全体で行い、2回目は今年度から各学科主催で開催し、3回目は年度をまたぎ入学後に計画した。</p>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切 法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。財務基盤においては、修繕費、人件費、物価高騰による経費の増加傾向があり、特に今年度は人件費の見直しを行ったため、その分修繕費を抑えることでバランスを図っている。 課題:学生数は学科によりばらつきがあり、全体として定員を充足していない。退学者数については個別面談や自習時間を指導することで一部改善している。 改善策:引き続き入学者数の確保と退学者数の減少、経費支出の見直しと予算化、業務の効率化を図る。</p>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切 「改正学校教育法」(令和8年4月施行)に関して、「授業時数」→「単位制」に完全移行し、教育の質保証が義務化に対応した。歯科衛生学教育モデル・コア・カリキュラム(全国歯科衛生士教育協議会)及び歯科衛生士教育ガイドライン(養成所指導ガイドライン)、歯科衛生士による浸潤麻酔研修プログラム(厚生労働省)の情報収集を行った。「改正道路交通法」(令和8年4月施行)に関する研修会の開催準備を行った。 課題:毎月有給消化の状況を確認し、必要に応じて、促しているが、時期の偏りが生じる。 改善策:適宜、法令等の遵守を各部門で行う。有給消化は年2回奨励月を設けて、見直しを図る。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> </ul>	<p>評価:ほぼ適切 介護福祉学科は塩浜文化祭 2025 に参加協力と学生ボランティア活動を行った。日本介護福祉士会、三重県介護福祉士会、日本介護学会が共催し、全国規模の学術大会である「第32回全国大会・第23回日本介護学会 in みえ」に協力した。歯科衛生学科は近隣小学校及び関連施設等での郊外実習を実施した。理学療法学科では、地元スポーツ競技のサポート支援を行った。作業療法学科は休暇を利用した外部の活動を推奨した。教員</p>

		<p>が地域住民に対する「はつらつ健康塾」の講師を務めた。塩浜駅周辺を考える意見交換会に参加し、近隣住民とコミュニケーションを図った。</p> <p>課題: 学園や学園内他校との連携した取り組みを模索していく。</p> <p>改善策: 地域住民への地域研修会の講師を務める。</p>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>●留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか</li> <li>●受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>●学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> <li>●学内で適切な体制が整備されているか</li> </ul>	<p>評価: ほぼ適切</p> <p>介護福祉学科は 2018 年より、海外留学生の受け入れを開始した。近隣日本語学校と連携を行い、適切なOCや入学前教育を通して入学説明を行っている。</p> <p>課題: 生活支援、ビザの更新手続きの支援等を行なっているが、業務が多岐にわたっている。</p> <p>改善策: 介護福祉学科の留学生の日本語能力の向上、国家試験合格の向上を目指すための具体的な方策を打っていく準備を行う。</p>